

現地で水俣病 関係を視察

国際ロータリー・

クの研究グループ

国際ロータリークラブ七二七、
七一九区（米国・ニューヨーク
州）の交換研究グループが六日、
水俣市の湯の尻リハビリテーシ
ンで水俣病の視察をした。一行は
団長の会社社長トール・ランダー
ル氏ら六人で、団長のほかは教師
や技術者などそれぞれ専門分野を
持つ二十歳代から三十歳代の研究
グループ。

午前十時すぎから大橋病院長ら
が水俣病と、リハビリ施設の概要
を説明し、施設と患者を見た。一
行は水俣病については日本にきて
初めて知ったという。リハビリに
は各種の身体機能障害者が収容さ
れているが、患者を見ては「ミナ
マタ・デジーズ？」と医師陣に質
問していた。

午後、次の視察地人吉市へバス
で向かった。人吉市では七日、人
吉城跡の見学、球磨川下りをする
予定。



リハビリを視察する一行